

英語 まだ受験準備に取り掛かってない諸君に！

学校行事や部活のために勉強時間がうまく取れなかったり、あるいは何をどのようにしたらいいのか分からなくて受験勉強を始めていない人も多いでしょう。

国公立志望の人はセンターまでおよそ 7 ヶ月、私立志望の人も受験準備に使える時間は同じくらいでしょう。あと七ヶ月間で英語の実力を受験レベルにまで持っていくにはどうすればいいか考えましょう。すでに勉強を始めている人でも、実は今の時期に語彙力・文法力・読解力と三拍子そろって力をつけている人は案外少ないのです。基本は文法力と語彙力ですが、現役生の場合圧倒的に語彙力が劣っているのが現状です。学校では、単語テスト等で鍛えられてはいるようですが、不思議なことに、ほとんど身につけていないのです。多分覚え方が悪いのかもしれませんが、いくら文法の知識があっても、語彙力が無ければ問題に対応できません。単語の意味が取れないから問題文の意味が分からない。選択肢の単語の意味が分からないから問題に対処できないという状況です。センター試験は四択です。正解するのは四分の一の確率ですが、まず正解することはできません。

英語の学習法では、単語は文の中で文脈のなかで（押えよう）という表現が使われます。確かに、文の中で押さえ込んだ単語は記憶に良く残るのですが、ひとつひとつの単語を例文ですべて押えるのは、大変な作業になるし限られた時間の中で入試に必要な 3000 語近くの例文をすべて憶えるのは困難でしょう。また一般に単語の教材は、意味も第一義だけでなくその他の意味・品詞や用例・例文まで出ています。要するに情報量が多すぎて、第一義すら覚えられない状態になるのです。ということは情報を絞って、とりあえず一単語・一義で暗記ペーパーを作ることを勧めます。要するに意味の赤字の部分の一つだけ憶えるのです。二義や用例は第一義を覚えてからでいいのです。それに特殊なものを除いて第一義以外の語彙が問われることはまず無いと思って差し支えないのです。入試に出もしない意味など覚える必要はありません。とにかく最低限の情報をまず自分のものにするのです。そうすれば核になる語彙力ができて、突破口が開けるのです。

暗記ペーパーはレポート用紙四つ折で単語と意味を交互に書いて使いやすく工夫して作ればいいでしょう。私は、単語カードはお勧めしません。一単語一枚で作るので、かさばるし、単語の前後はともかく上下左右といった位置関係をつかめないからです。暗記ペーパーは使ってみたら分かると思いますが、それぞれの単語の位置関係によって、単語の意味を視覚的に記憶することができるのです。レポート用紙一枚に最低 50 単語くらいは入れられるでしょう。また、知っている単語は暗記ペーパーには書く必要はありません。（ただし単語は必ず発音できなければなりません。綴りの練習なんかはする必要はありません。発音できる単語は、二三次書けば覚えられますよ。単語を見て発音と意味が言えればいいのです。情報を絞れば、センターに必要な語彙の暗記はかなり楽になるでしょう。暗記ペーパーは、それぞれの単語の前後・左右位置関係を暗記の過程で頭に刷り込めるので、かなり多くの単語を短時間に頭に叩き込むことができます。）

極論すれば今から勉強始める人は、単語力の養成のみ心がけていけばいいと言ってもいい

でしょう。それに平行して文法演習をやっていけば基礎が固まるはずです。センターレベルの長文読解は、語彙力がついてさえいれば秋から演習していけば間に合うはずです。また学校の受験対策は基礎的なものが多いから基礎固めに大いに利用することです。

*夏季に、塾では文法・作文演習を通じて応用力の涵養をはかっていくこととなります。読解に本格的に取り組むのは九月からになる予定です。語彙力・文法力が備わってきたら読解の対策はかなり楽に進めることができるようになります。また二次対策・私立対策は、個々に課題を与えて質疑応答する形式になります。塾にはレベルに応じた教材が多く用意されています。学習方法も教えますよ。

*夏を制するものは受験を制すなどよく言われますが、語彙を制するものは英語を制すのです。ぜひ暗記ペーパーを作って語彙力を飛躍的にアップさせましょう。

*あれやこれや手をつけるのは良くない、自主学習は語彙力強化に集中しましょう。

*文法題の解き直しは、ポイントのみ押さえ込めば時間はかからない。問題文中の単語は必ず押える。ネクステ等で必ず基礎の確認をする。

現状打破のために、とりあえず試してみてください。